

やまきたまち 議会 だより

議会のおと

- P 2 ~ 5 ... ここが聞きたい? 決算審査
- P 8 ~ 9 ... 町三役と議会の期末手当削減へ
- P20 ... おしゃべりCafe 再開



最高の仲間と最後の運動会
三保小学校PTA (関連記事は裏表紙に)



町の木材の有効活用を

地域水源林整備

三ヶ町組合の森林から搬出の奨励金を活用し搬出した材を市場に持って行き赤字だったとのことだが、今後の予定は。今後は町内で間伐材を活用できないか。

農林課長 森林整備の計画期間はあと2年あるので、整備を続ける。間伐材の搬出は、今年度実施予定であり、利活用は環境課と調整しながら進めていきたい。

砂利の流入については、入ったものを取るだけでは、抜本的な解決にならない。県とタイアップして対策を考える必要があるのでは。

都市整備課長 砂利浚渫は企業庁及び町で実施している事業で町としては3万m³を、企業庁は2万m³を目標に浚渫している。毎年企業庁、県西土木事務所、町で三保貯水池保全事業連絡会を開催し対策を強化しているのでそこで話をあげたい。

丹沢湖の砂利浚渫

町内循環バス 運賃収入が年々減少しているが対策は。ルート設定等に改善の余地は。

企画政策課長 利用者、運賃収入共に年々減少傾向である。向原連合自治会から運行ルートに東山北駅前広場を加える要望があり検討している。

町内循環バス

消防団活動



町民の安心・安全を守る消防団員

消防団員が昨年度より減っている。今後の消防団のあり方は。

総務防災課長 令和元年度に消防団あり方検討会議を立ち上げ、団員の世帯加入率や平均年齢等の状況を調査した後に分団統合の検討を進めている。知識や経験をもつ消防団OBを活用した機能別消防団員の導入についても検討を図っている。

1 1 目 決算審査

令和元年度 一般会計歳出決算額 52億9769万円

第3回定例会のあらまし 令和2年第3回定例会を9月4日から14日まで開催。

令和元年度の一般会計及び各特別会計・水道事業会計の決算を決算特別委員会(児玉洋一委員長)で審議した。主な質疑は以下の通り。



児玉洋一決算特別委員会委員長

町税収入

不納欠損額の増加の要因は。また滞納整理等の取り組み状況は。 ※不納欠損とは：滞納分の徴収金が徴収できなくなり、消滅した額のこと

町民税務課長 1件の法人の倒産が大きな要因である。滞納金額が多い場合には分納を勧めるなど、経済状況に合わせた納付計画で完納に至る取り組みを行っている。

鳥獣害対策

さるの捕獲数は。 **環境課長** 3頭捕獲した。県からの許可頭数は2頭なので2頭は駆除、1頭は牙を剥いたり暴れるので加害個体として処分した。

猟友会の新規会員は。

農林課長 令和元年は会員50名、令和2年では53名に増加しており最近では町外の方の会員が増えている。

再生可能エネルギーの検討

公共施設における太陽光やバイオマス等の検討結果は。

環境課長 小山町などから情報収集、水力については自然エネルギー機構から具現化、事業実施に向けた情報収集、静岡県では二コニコ水力発電を見学し、今年度には片内横断の検討会議を実施した。小水力、さくらの湯、ぶなの湯のボイラーについては取り組もうという目標の中で調査研究を行っている。

入猟承認手数料が増えている要因は。

環境課長 実技研修会を独自に実施しているため。1名でも参加できる実技研修会を開催することで参加者を増やしている。

国の捕獲の補助制度が利用されないのはなぜか。

農林課長 町独自の制度では尻尾を役場に提出するだけで頭数確認できる。国の制度では狩猟者が山中で1時間以上職員を待たなければいけないなど、規制が厳しく利用されにくい。



町内の豊富な木材をぶなの湯で活用できるか?



町内に出没したサル(9月撮影)

2日目

定住総合対策事業

住まいづくり応援制度の成果は。また、町内定住者を増やす新たな取り組みは。

定住対策課長 新築祝金は10件、二世帯同居・近居奨励金は9件、空き家活用助成金は1件の実績があり、町内外からの定住者も少しずつ増えている。今後、町の特色を活かし、県の移住セミナーの参画や、他市町とも連携をしながら、定住者増加に向け引き続き取り組んでいく。



残り区画あとわずか。人気のヒルズタウン丸山

対象地区の拡大やタクシー券の増額をしたことによる成果は。
また今後、町内全体の公共交通をどう考えているのか。

福祉課長 30年度の福祉タクシー券交付数は157世帯に対し、元年度は169世帯、利用額も約150万円から約170万円と伸びているため、一定の成果があったと考える。

副町長 町としては、福祉タクシーの運行が最終形態とは考えておらず、今後、循環バスと福祉タクシーの組み合わせなど、町内公共交通の利便性向上に向け、検討していく。

福祉タクシー運行事業

学校運営事業

コミュニティスクール運営事業費が減額となった要因は。持続可能な学校運営を図るため、更なる事業推進に向けた取り組みは。

学校教育課長 コロナ禍に伴い、開催予定であった委員会が中止となったことによる委員の報償費減が主な要因である。

教育長 コミュニティスクールになったことで、保護者や地域の方も参画し、学校運営に対して承認を受ける仕組みとなった。現在、それぞれの小中学校で学校運営協議会を設置しているが、今後、持続可能な学校運営を図るため、一貫教育として小中学校で一つの協議会とする構想も考えている。

英語補助教員設置事業の実績と成果は。

教育長 小中学校へ各1名ずつ英語補助教員を配置し、国際理解教育を進めている。授業もかつての文法中心ではなく、全てのやり取りを英語で行うなど、日常的なコミュニケーションができるレベルまで引き上げていきたい。

健康福祉センター・生涯学習センター

使用料が減額となった要因は。今後、利用者増加に対する取り組みは。

生涯学習課長 両施設とも、台風19号による断水やコロナ禍に伴う休業もあり、減額となった。今後、様々な工夫を講じ、利用者増加に努めていきたい。



Let's Study English.

園の給食事業

昨年10月から園の保育料が無償化になったが、給食事業では、今まで通りご飯の持参が必要となっている。

今後、保護者の負担も考え、おかずに加え、ご飯も提供する考えは。

副町長 保育料無償化の際、給食事業についても検討した。園の給食については、現在こども園で一括調理しており、調理室の設備上の問題もあるため、これまで通りと決定した。

オリンピック・パラリンピック関連事業

延期となったオリンピック・パラリンピックの次年度開催に向けた取り組みは。

企画政策課長 元年度は、グッズ製作や庁舎内にロードレーサーの展示など、啓発活動に取り組んできた。今後は、次年度開催に向け、大人も子どもも大会に関わることができる企画を考えていきたい。

健康診査・相談事業

不用額が大きいのが、がん検診や予防接種の受診率が低いのは。検診者数の増加に向けた取り組みは。

保険健康課長 希望される方全員に受診していただくため、余裕を持った予算としていたが、コロナ禍の影響もあり、検診結果が伸びなかったことが要因の一つと考える。もつと簡単に検診が受けられる先進事例も研究しながら、検診案内の全戸配布など、検診者数の増加に向け、取り組んでいきたい。

特別会計

国民健康保険税

国保財政の安定化のため、滞納状況の改善の他に、医療費削減に向け更なる取り組みが必要では。

保険健康課長 年2回の医療費通知や、ジェネリック差額通知等により、より一層健康づくりに関心を持つよう努めていく。

町長 山北町は国保税算定にあたり、資産割を採用しているが、近隣では縮小あるいは廃止する傾向である。縮小した分は所得割等、他の算出方法へ移行し、負担が増える場合もある。今後、山北町にとって一番いい方法を考えながら運営していきたい。



開催が待ち遠しいオリンピック・パラリンピック



みんなで食べる楽しい給食

8月臨時会 (8月3日)

一般会計補正予算(新型コロナウイルス追加支援対策)

歳入歳出 **6965万円**を追加 **新しい生活様式!!**



電子書籍システムの導入で新しい図書室運営を

コロナに負けない

図書室運営事業 (603万円)
電子書籍貸出システム導入の貸出しまでの流れや、購入する電子書籍の内容は。

生涯学習課長 電子書籍を利用するためには、図書室で改めて登録をしてもらい、携帯端末などで書籍を検索、データをダウンロードし2週間読めるシステムを想定している。

電子書籍の内容については、所蔵してある本と同じものなど、良いものを購入しながらデータを蓄積し、無料で貸出していく。

雇用対策助成金 (2387万円)
国の雇用調整助成金は受給ハードルが高いと聞いているが、町内の現状は。

また、運用方法は。

商工観光課長 労使協定の締結や休業をしている場合が対象なので、それほど申請されていないと思われる。

雇用対策助成金は、従業員の雇用を維持するため、法人20万円・個人10万円を上限として助成することを考えている。

その他 注目 事業!!

事業	内容	金額
学校給食費補助金	578名分×6か月分補助	1548万円
生涯学習センター維持管理事業	視聴覚ホールの換気システム改修工事	269万円
ミスト設置工事費	児童・生徒の熱中症対策(こども園・保育園・幼稚園※三保幼稚園除く・小中学校)	283万円
防災対策備品等整備事業	避難所の間仕切り・段ボールベット他	725万円

9月定例会 (9月4日~14日)

補正予算 **7億9931万円**を追加
歳入歳出 **総額 69億4531万円**

注目事業!!

事業	内容	金額
林業促進事業	測量委託など	692万円
足柄茶振興事業	足柄茶生産奨励金(10万円×90件)	900万円
地域防災計画事業	防災ハンドブック・防災マップ策定業務委託料	710万円
町道災害復旧工事	台風19号で被災した谷戸北畑線の復旧工事	2億8389万円
公共施設整備基金積立金	計画している施設の積立金	1億7000万円

農林課長 昨年の台風19号等で災害があり、災害に強い山づくりのため、増額された。

長雨で痛んだ林道の補修等を行い、被災した山の森林整備をしていく。

林業促進事業 (692万円)
森林振興費の増額は、森林環境譲与税によるものだと思いが要因は。また、事業内容は。

足柄茶振興事業 (900万円)
足柄茶生産奨励金の対象など、具体的な取り組みは。



お茶畑まで広がった土砂災害(谷ヶ地区)

農林課長 コロナの影響で、足柄茶の流通が減少しているため、足柄茶生産者に対し10万円を90件見込んでいる。

地域防災計画事業 (710万円)
地域防災計画事業について、防災ハザードマップの配布時期は。また、昨年の台風19号の災害情報などは、反映されるのか。

総務防災課長 県の告示が完了次第、策定に入り年度内に完成予定なので、配布は4月以降の可能性もある。個別の災害の情報等の反映については考えていない。

主な議題は、令和元年度一般会計・特別会計・水道事業会計決算、新規条例、条例改正、条例廃止、補正予算、発議、人事案件など34案件を審議し、全て原案どおり可決しました。

令和2年度一般会計補正予算は、町税など減収の見込みではありますが、国からの地方交付金・地方創生臨時交付金などにより増額補正となりました。

*新規条例は総務環境常任委員会に付託され、審議されました。(12ページに掲載)

*一般質問は1期目の全7人の議員が登壇しました。(13ページ〜19ページに掲載)

新型コロナウイルス 町三役と議会の



図書購入で読書週間

議会	削減率	削減額	使用目的
議長	20%	190万円	図書カード配布 3歳児から中学3年生までの子どもたちへ2,500円分の図書カードを配布
副議長			
議員			

議員発議の削減提案

反対

「議員活動の保障を」
堀口 恵一

この発議の使途に反対である。また、報酬削減どころか、増額すべき状況だと考える。政務活動費がないので議員活動は個人負担である。議員の活動を保障するためにも報酬等の減額はすべきではない。

賛成

「教育環境支援を」
児玉 洋一

第3回臨時会で、町三役の期末手当削減案を否決した。町の財政状況が明らかになった今回は、学校教育や子どもたちに役立てるためにも、本案件に賛成する。

本会議での賛成反対討論

「町民の福祉向上を」

瀬戸 恵津子

コロナ禍で町民生活に大きな影響が及ぼされ、終息が見えない。町民の福祉の向上に寄与することを第一に考え、議員として町民に寄り添う姿を形で表すため、まとまった財源を確保する本案件に賛成する。

議員発議 山北町議会から国へ意見書を提出

「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書」について議員発議がなされ、全員賛成で可決された。

地方自治体ではこの先、国からの地方税・地方交付税等の大幅な減少により、地方財政が厳しくなる状況が予想される。

地域の実情に応じた安定的かつ持続的な行政サービス提供のため、これまで通り、地方税財源の確保・充実に向け、国及び国会に意見書を提出するもの。

意見書要旨

- 一、地方の財政運営に必要な地方税・地方交付税を確保・充実すること。
- 二、令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じること。
- 三、地方税の政策税制は、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充等は有効性等を厳格に判断すること。

感染症に伴う緊急支援 期末手当削減へ

三役	削減率	削減額	使用目的
町長	25%	114万円	防災対策備品購入 ・医療用ガウン ・災害備蓄マット ・サーモマネージャー
副町長	20%		
教育長			



避難所生活を支えるエコマット



庁舎入口で体温チェック
サーモマネージャー

町三役の削減案例提案

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、町三役(町長・副町長・教育長)及び議会議員14人の12月期末手当の削減案をそれぞれ可決しました。削減率は、町長25%、副町長・教育長は20%とし、防災対策備品の整備に、議会議員は20%とし、教育振興等の更なる支援に充てます。

「町三役の姿勢に共感」

石田 照子

議会として何かできないかとの模索は5月より行ってきた。またコロナ対策において町と足並みをそろえるということは、車の両輪として足並みをそろえるということであり、有事の際には当然の事と考える。
職員給与については、人事院勧告もなの中で、議会の関する問題ではなく、全くの的外れであると思う。
三役の期末手当削減については、切迫した状況の中で少しでも財源を確保したいという気持ちは十分理解でき、町のトップランナーの姿として共感できる。

賛成

「スピード感ある対応を」
児玉 洋一

足並みを揃えるとは、コロナ対策に向け、議会も両輪となってコロナに立ち向かっていくべきという意味である。
また、町職員の給与削減については、別に人事院勧告によって定められるため、議会が介入する案件ではないと考える。今一番重要なことは、経済再生と教育復旧に向けたスピード感ある対応であり、町民に求められていることではないか。
少しでも早く安心して暮らせる日常を取り戻すべく、今回の町の姿勢を評価したい。

反対

「町全体で対応すべき」
堀口 恵一

前回、町三役の6月期末手当削減案が否決となった。その理由としては、三役だけではなく議会も町と足並みを揃える必要があることである。今回、議会も全員賛成ではないが報酬削減を提案することを考えると、今度は町職員も何かしなければならぬのではないかと、町に財政が厳しいのであれば、町全体で報酬・手当等の削減をすべきであると考え、今回の提案には反対する。

本会議での賛成反対討論

議案等審議の結果

件名	審議結果	件名	審議結果
令和2年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計補正予算(第1号) ・予備費を減額補正するもの	可決	令和2年度山北町商品券特別会計補正予算(第1号) ・予備費を増額補正するもの	可決
令和2年度山北町山北財産区特別会計補正予算(第1号) ・予備費を増額補正するもの	可決	山北町教育委員会委員の任命について ・任期満了に伴い、委員を任命するもの 「野地泰次」氏	同意
令和2年度山北町共和財産区特別会計補正予算(第1号) ・財産区管理会費と予備費を増額補正するもの	可決	山北町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、議長、副議長及び議員の期末手当(12月)を減額するもの	可決(賛成多数)
令和2年度山北町三保財産区特別会計補正予算(第1号) ・財産区管理会費と予備費を増額補正するもの	可決	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について ・地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保・充実が必要との意見書を国及び国会に提出するもの	可決
令和2年度山北町介護保険事業特別会計補正予算(第1号) ・基金積立金、償還金及び還付加算金、国庫支出金返納金、一般会計繰出金などを増額補正	可決	令和元年度山北町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について ・健全化判断比率及び資金不足比率を議会に報告するもの	報告のみ

第4回臨時会(8月3日)

件名	審議結果	件名	審議結果
令和2年度山北町一般会計補正予算(第4号) ・新型コロナウイルス感染症対策等に伴い、増額補正するもの	可決		

第3回定例会(9月4日~14日)

件名	審議結果	件名	審議結果
令和元年度山北町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	山北町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について ・一般職の任期付職員の採用等に関し必要な事項を定めるもの	可決
令和元年度山北町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	山北町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・山北町一般職の任期付職員の採用等に関する条例制定に伴い改正するもの	可決
令和元年度山北町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	山北町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・山北町一般職の任期付職員の採用等に関する条例制定に伴い改正するもの	可決
令和元年度山北町災害給付見舞事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	山北町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、町長、副町長及び教育長の期末手当(12月)を減額する特別措置を実施するもの	可決(賛成多数)
令和元年度山北町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	山北町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・山北町一般職の任期付職員の採用等に関する条例制定に伴い改正するもの	可決
令和元年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	山北町手数料条例の一部を改正する条例の制定について ・「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律」の改正等により、必要となる改正をするもの	可決
令和元年度山北町山北財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定	山北町立の小中学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・令和3年4月1日に三保小学校が川村小学校に統合されることに伴い、必要となる改正をするもの	可決
令和元年度山北町共和財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定	山北町立学校給食共同調理場の設置等に関する条例を廃止する条例の制定について ・令和3年4月1日に三保小学校が川村小学校に統合されることに伴い、給食共同調理場が廃止されるため条例を廃止をするもの	可決
令和元年度山北町三保財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定	令和2年度山北町一般会計補正予算(第5号) ・主に新型コロナウイルス感染症対策等に伴い、増額補正するもの	可決(賛成多数)
令和元年度山北町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	令和2年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) ・保険給付費と予備費を増額補正するもの	可決
令和元年度山北町商品券特別会計歳入歳出決算認定について	認定	令和2年度山北町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) ・後期高齢者医療広域連合納付金と予備費を増額補正するもの	可決
令和元年度山北町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決・認定	令和2年度山北町下水道事業特別会計補正予算(第1号) ・下水道整備費と予備費を増額補正するもの	可決

☆賛成・反対があった議案(第3回定例会)

議案件名	議員名(議席順)												
	瀬戸恵津子	山崎政司	和田成功	熊澤友子	鈴木登志子	瀬戸顯弘	瀬戸伸二	清水明	児玉洋一	遠藤和秀	堀口恵一	富田陽子	石田照子
山北町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	○
令和2年度山北町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
山北町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	○

※○は賛成、●は反対を表しています。府川輝夫議長は、採決に加わりません。

令和元年度一般会計決算における 本会議での賛成討論

「職員の努力を評価」

石田照子

令和元年度は台風19号が各地で甚大な被害をもたらし、全庁挙げて対応に追われた。年が明けると新型コロナウイルス対策と、かつてない心労の中での行政運営となったことと思う。そのような臨時的な歳出が膨らむ中、交付金や寄付金制度の活用など、山北町第5次総合計画に定められた様々な事業に積極的に取り組み、3億7千万円程の剰余金を生み出すことができたことは努力のたまものである。評価すべき点である。

子育て世代への対応では、公園整備特別教室へのエアコン設置、台風19号による断水では、給水対応、上下水道料金の減免、地区水道等への復旧支援など町民に寄り添った対応をいち早く実施した。交通弱者対策としては、福祉タクシーの対象地域や金額の見直しなど、公共交通の更なる発展を模索し、交通弱者の交通確保に努めるなどの努力が見て取れ、後に大いに期待するところである。町民の福祉の増進に日々力を注がれた三役をはじめ職員の努力を評価し賛成討論とする。

問 再生可能エネルギー等の利活用を
答 実現化に向け前向きに進めていきたい



和田 成功 議員



SDGsに見られるように、環境と経済という今までは対立・矛盾するとされてきたものが一体化し、地域の経済循環の促進などにも関心が高まり17のゴールの達成に向け、積極的な取り組みが求められている。今、当町として再生可能エネルギー等の利活用に、積極的に取り組むべきと考え質問する。

答 令和2年6月、庁内で「再生可能エネルギー検討会議」を設置し導入の可能性について、調査・研究を進めている。「マイクロ水力発電」については、民設民営で関係機関と諸条件等の調整を始めている。また、「木質バイオマス」については、町有温浴施設2か所の改修時期等を見据えながら検討を始めている。再生可能エネルギーの実現化に向けて、クリアすべき様々な課題があるため、1つずつ整理しながら前向きに進めていきたい。

問 再生可能エネルギーの利活用について、進捗状況は。



問 脱炭素型の地域交通モデルを構築するためにも、公用車としてEV自動車の導入に積極的に取り組んでは。

答 EV自動車の導入については、様々な観点から総合的に判断し、積極的に取り組んでいきたい。

問 継続的な経済支援策を
答 地域の実情に似合った支援策を考え実施していく



商店街団体による県の補助金を活用したプレミアム商品券

問 今後の事業者支援策についての考えは。

答 今後は、コロナ禍の影響を受けている町民の生活を支援し、消費を喚起して地域経済を活性化させるためにも、プレミアム付き商品券の発行について検討するとともに、商工会など関係団体等と連携を図りつつ、地域の実情に合った支援策を考え実施していく。

原稿は、質問者本人が作成しています。

任期付職員(防災監)採用等に関する条例制定
更なる防災機能の向上へ

新規条例

職種	内容	任期
特定任期付職員	高度の専門的な知識経験を有する者を一定期間採用できる	5年
一般任期付職員	専門的な知識経験を有し、実務経験を有効に活用できるものを一定期間採用できる	5年
任期付職員	一定の期間で業務終了が見込まれる場合、能率的運営を確保するため、任期を定め採用できる	3年
短時間勤務職員	短時間で業務終了が見込まれる場合、能率的運営を確保するため、任期を定め採用できる	3年

防災監は……

防災監ってなに?

近年、全国各地で頻発する集中豪雨や土砂災害、地震などの応急対応及び復旧・復興のため、防災の専門的な知識・能力・経験を有する職員。元自衛官の経歴を活かし、防災対策の専門家として期待される。

主な質疑

今回採用される防災監の職種と他の任期付職員の職種の違いは。

防災監は退職自衛官とのことだが、継続的な人材確保に向け、自衛隊との連携が必要ではないのか。

総務防災課長 防災監は一般任期付職員での採用を考えている。

他に、特に高度の専門的な知識経験を有する特定任期付職員と、短時間で業務の終了が見込まれる任期付職員、短時間勤務職員に区分している。

総務防災課長 自衛隊とは年1回の情報交換を行っており、町長も独自の繋がりがある。

今後、常に自衛隊との連携に努めていく。

今後、防災監以外に専門的な知識を有する者を採用する考えは。

総務防災課長 今のところ防災監以外は考えていない。採用事例として、大きな訴訟を抱える場合に弁護士を雇わなければならない場合などが想定される。



防災監の採用で更なる防災機能の強化を

こんな時は相談を

- 地域防災計画の作成をしたい
- 自主防災組織の運営や訓練をしたい
- 避難所運営の基礎知識を習得したい
- 災害に対する予備知識を知りたい など…

一般質問

問 耕作放棄地、遊休農地の活用は
答 農地が持つ多面的な機能を発揮できるよう取り組む



瀬戸 伸二 議員

農業従事者の高齢化に伴い、耕作放棄地や遊休農地等が増えている。スマートICの開通により来町者の増加が見込まれる中、町の景観が損なわれる事はあってはならない。そこで、耕作放棄地や遊休農地をどの様に再生するかが課題となる。
 コロナ禍、都市部ではベランダ等で家庭菜園を楽しんだ等の情報もある。都心に近い当町において、農業を通し町の関係人口の増加に繋がるチャンスと考え以下質問する。



オリーブ畑

問 町は、耕作放棄地や遊休農地の活用をどの様に考えるか。
答 町では農業委員会と連携し耕作放棄地や遊休農地の情報を掘り起こし、利用調査を行い所有者自らが耕作をするよう促す。

問 町は、耕作放棄地や遊休農地の活用をどの様に考えるか。
答 町は、オリーブ栽培を推奨しているが、現在の山北のオリーブ栽培の状況をどのように理解しているか。

問 町は、耕作放棄地や遊休農地の活用をどの様に考えるか。
答 町では農業委員会と連携し耕作放棄地や遊休農地の情報を掘り起こし、利用調査を行い所有者自らが耕作をするよう促す。

問 町は、耕作放棄地や遊休農地の活用をどの様に考えるか。
答 町は、耕作放棄地や遊休農地の活用をどの様に考えるか。

問 鳥獣被害は農業生産者にとって最大の頭痛の種である。町は広域で認証ジビエに取り組む予定と聞いているが進捗状況は。
答 令和2年1月から足柄上地区食肉処理施設整備検討会を立ち上げて、1市5町で検討を続けている。

問 令和2年度の農林施策・予算要望で、レモン栽培の支援の要望があり、JAとの連携をこれまでに以上についていく。
答 令和2年度の農林施策・予算要望で、レモン栽培の支援の要望があり、JAとの連携をこれまでに以上についていく。

問 JAかながわ西湘では、レモン栽培を2市8町で推奨している。町はJAと協力してレモン栽培を推奨する意思はあるか。
答 令和2年度の農林施策・予算要望で、レモン栽培の支援の要望があり、JAとの連携をこれまでに以上についていく。

問 生産物保護のために、電気柵への助成金を増額すべきと考えられているか。
答 検討する。



イノシシに荒された稲田

原稿は、質問者本人が作成しています。

一般質問

問 山中湖と丹沢湖の連携強化と観光ルート見直しを
答 林道の観光ルートとしての活用について国、県へ要望していきたい



堀口 恵一 議員

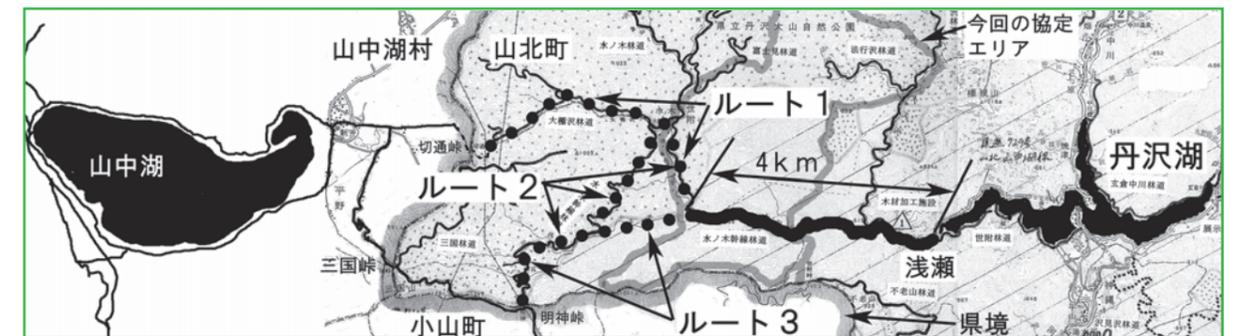
令和2年3月24日、「世附地区森林整備推進協定」(町、県、民間会社が行われ、森林共同施設団地内の路網整備も実施していくことになっている。このエリアは認定県道729号山北山中湖線を含んでおり、この道から途中西南方向に分岐する道(水の木幹線林道)が県道山中湖小山線に明神峠で合流する。現在小山町側、山梨県側の道は県道管理となっており、オリンピックロードレースコースの一部でもあり、観光道としてよく認知されている。
 また、林業者の木材搬出、間伐などが効率よくできるようにしている。
 そこで質問する。



想定する丹沢湖を通る東京からのルート

問 静岡県・山梨県・神奈川県の一部自治体に参加している富士箱根伊豆交流圏市町村ネットワーク会議があり、観光情報の共有を定期的に図っている。これらを通じて域内の交流を積極的に進めていく。
答 静岡県・山梨県・神奈川県の一部自治体に参加している富士箱根伊豆交流圏市町村ネットワーク会議があり、観光情報の共有を定期的に図っている。これらを通じて域内の交流を積極的に進めていく。

問 丹沢湖を富士五湖に一番近い湖(人造湖)としてPRするなど何か山中湖との連携性を示し、質の高い観光活性化を図ってはどうか。
答 丹沢湖を富士五湖に一番近い湖(人造湖)としてPRするなど何か山中湖との連携性を示し、質の高い観光活性化を図ってはどうか。



丹沢湖～山中湖間に想定出来る3ルート

問 「東京～新東名山北(仮称)SIC(丹沢湖～山中湖)」のルートを観光道として確立すれば、丹沢湖を見てから山中湖、河口湖方面へ行く観光客が見込める。ルートは3つ考えられる。(上図参照)
 ・ルート1は県道729号で切通峠を通る。(切通峠前後付近は現在歩き道のみ)
 ・ルート2は水の木幹線林道と同じ(通行実績のあるルート)
 ・ルート3はルート2の一部をショートカットするルート。
 まずは3ルート共通である今回の協定エリア内の浅瀬から西へ約4km区間を林野庁管理林道から県道管理にするように話を進めてはどうか。
答 林道を山中湖の観光ルートとして活用することは、非常に難しいと思うが、必要に応じて国、県に要望していきたい。

問 「東京～新東名山北(仮称)SIC(丹沢湖～山中湖)」のルートを観光道として確立すれば、丹沢湖を見てから山中湖、河口湖方面へ行く観光客が見込める。ルートは3つ考えられる。(上図参照)
 ・ルート1は県道729号で切通峠を通る。(切通峠前後付近は現在歩き道のみ)
 ・ルート2は水の木幹線林道と同じ(通行実績のあるルート)
 ・ルート3はルート2の一部をショートカットするルート。
 まずは3ルート共通である今回の協定エリア内の浅瀬から西へ約4km区間を林野庁管理林道から県道管理にするように話を進めてはどうか。
答 林道を山中湖の観光ルートとして活用することは、非常に難しいと思うが、必要に応じて国、県に要望していきたい。

原稿は、質問者本人が作成しています。

一般質問

問 テレワーク移住希望者を定住対策のチャンスに
答 移住・定住人口増加に向けて取り組む



山崎 政司 議員

山北町の人口は、現在一万人程度まで減少し、行政だけでなく町民にとっても最大の懸念事項となっている。

昨年発生した新型コロナウイルスに伴い、各企業は、勤務体制を見直しテレワーク等を導入しており、政府も働き方改革を提唱して感染防止を進めている。

都市部では感染リスクが高い傾向にあることから、企業をはじめ従業員にも意識の変化が見られ、地方への移住に目を向ける人が増加している。

地方にとっても定住人口誘致の絶好のチャンスであり、この機会を逃すことがないようあらゆる手立てを駆使し定住対策に繋げるべきと考え質問する。



水上住宅建設予定地

問 現在計画を進めている水上住宅の活用予定は。

答 インターネット設備を設置することを条件としているため、テレワークを行う方についても入居していただくことも可能と考えている。

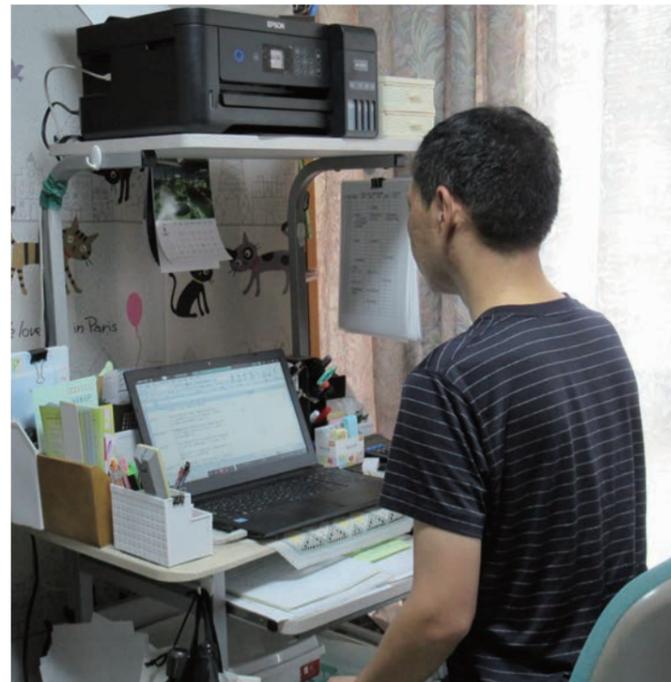
問 丸山地区の宅地分譲地及び企業誘致用地の販売契約状況は。

答 今年の5月以降急激に契約締結が増加し、28区画中24区画が契約成立となり、現在3区画について商談中である。

宅地分譲地を購入した方の中には、仕事がテレワークになったことで購入を決めたという話も伺っている。

問 スマートインターチェンジ開通を見越した、今後の情報発信に向けた予定は。

答 町のホームページだけでなく、移住セミナーや移住フェアなど、様々な機会を通じて情報発信を行い、移住・定住人口の増加に向けて取り組んでいく。



原稿は、質問者本人が作成しています。

一般質問

問 やまきた子ども知っ得キャンペーンを
答 前向きに検討していきたい



富田 陽子 議員

新型コロナウイルスの収束が見えない中で、子どもたちが外出自粛や校内の行事の中止で、学ぶ機会や外へ出る機会が失われ、安心して遊べる場がないことや、商工観光業への打撃は深刻である。

この状況をふまえ、従来の視点を転換し、山北町内での経済・人の循環を図ることが、今後の町づくりにとって重要であると考え、質問をする。

キャンペーンの内容

- 町内の0～18歳の子どもたちへ観光補助券配布
 - 町内の商店、飲食店、観光名所及び、個人や団体、企業が行う自然体験(※)も掲載した地図付きパンフレットを作成し補助券と共に配布
- (※) 例：沢登り、丹沢湖SUP、カッティングボード作り、紙漉き体験、森林活動など

問 子どもたちが安心して遊べる場を作ることは、町内経済の活性化や感染症の拡大防止という観点から大変有意義だと考える。

答 子どもたちが町内で使える観光補助券と地図付きパンフレットを配布し、子ども・商工観光業・将来のまちづくりへメリットとなるような「やまきた子ども知っ得キャンペーン」を実施したらどうか。



大人気の薪割り体験



あまり知られていない魅力的な沢登りを子どもたちに

キャンペーンのメリット

- 商店や買い物などの飲食を促進
- 感染者数ゼロで安心
- 体験学習や観光を通して自然や文化を子どもたちへ伝達
- 町の魅力に触れることで、自分の住んでいる町を誇りに思う
- 誇りに思うことでUターンしたり将来的に関係人口が増えたり人口減少に歯止めがかかる

問 内容に変更があった場合の対応には時間を要するため、ホームページや広報紙等を活用していきたい。

答 内容に変更があった場合の対応には時間を要するため、ホームページや広報紙等を活用していきたい。

原稿は、質問者本人が作成しています。

一般質問

問 コロナウイルス禍の学校の状況は

答 感染症対策および心のケアの両面に配慮している



清水 明 議員

答 学校再開時のアンケートから長期休業の影響はほとんど見られなかった。また、その結果をもとに職員全体で支援していく体制を取っている。

問 夏休み明けの子どもたちの「心のケア」が大切であると思うが、対策は。

新型コロナウイルス感染が深刻さを増している。夏休み明けの学校で子どもたちの安心・安全・学びの権利が保障されているとは言いがたい状況にある。保護者の心配もそこにある。子どもたちの学ぶ権利の観点から質問する。

答 ゼロからのオンライン授業だが、各学校で工夫・改善を行い、実践を積み重ねているところである。

問 今後もオンライン授業の精度の向上が重要と考えるが、オンライン授業についての検証はなされているか。

答 町では「概ね遅れていない」と考えている。年度内には、すべての学習内容について実施できる計画を立てている。

問 ある調査で市区町村の約半数の教育長が学習進度が遅れていると答えている。当町の状況は。



丹沢湖畔の尾崎さん記念碑

答 当町における道路事情等から、安全面を第一に考慮してのコース設定は困難な状況にあることから、現在のところ町内でのコースの設定は難しいと考えている。

問 マラソンまたはジョギングコースの設定はその後どう進んでいるのか。

問 尾崎好美さんオリンピック出場記念マラソン大会の開催を

答 丹沢湖畔にオリンピック出場記念碑を設置し、功績を称えている



日向活性化施設にある頭彰碑

問 「足柄峠越え」のランニングコースが人気を集めているが、このコースを利用して尾崎好美さんの冠大会を開催する考えはないか。

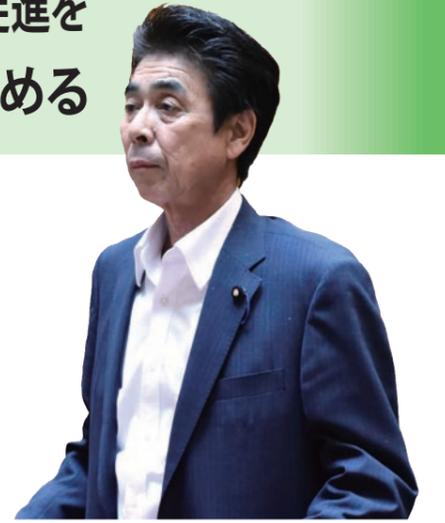
答 尾崎さんの所属先に問い合わせたところ、これまで選手の名を冠つけた大会の実績はなく、手続きの面、費用の面、会社の方針が定まっていないうことから現時点での開催は難しいと考えている。

原稿は、質問者本人が作成しています。

一般質問

問 空き家の老朽化対策と利活用による定住促進を

答 空き家バンクへの登録促進に努める



遠藤 和秀 議員

山北町では、少子高齢化や人口減少のため、空き家は急速に増えている状況である。家屋は人が住まなくなると、劣化が早く進んでしまう。そのような状態になるまえに、何らかの手だてを打つべきであると考ええる。適正に維持管理されていない空き家は、老朽化等倒壊による、被害を与えるほか、防犯、衛生環境、景観等住民に深刻な影響をおよぼすと考え質問する。



空き家

「山北町空家等対策計画」は、特別措置法に基づき、対象となる物件を特定空家に認定し、所有者に対し適正に管理をすることを指導、助言する。昨年度は4件を指した。戸内関係所属で構成する「放置空家対策検討会議」を進めている。

問 「空家等対策計画」が策定され、その後の取り組み状況及び成果は。

答 町内に相当数存在している放置空き家に係わる行政の役割は、所有者自身による売却や自主解体等を促すことが重要である。放置された空き家といえども、基本的には当該所有者の私有財産であることから、管理責任は所有者にあり、適切な管理を促すことを主軸として対策を講じていきたと考えている。

問 利活用されない放置空き家の管理についてはどう考えるか。



空き家



空き家バンク登録家屋（岸地区）

答 助成金利用実績は18件で、内17件が町外からの転入者の利用であったことから、転入理由の一つにもなっている。

問 空き家活用助成金制度の実績及び効果は。

答 これまでの11年間で195件の物件登録があった。成果としては、172件386名の利用があり、このうち88件174名の方が町外から移住するという一定の効果が出ていると考えている。

問 空き家バンクの取り組み状況及び成果は。

原稿は、質問者本人が作成しています。

No.202議会のおと 広報モニターアンケート

15名の議会広報モニターの皆様から、前号のアンケートに回答していただきました。毎回沢山のご意見やご指摘、アイデアをいただきすぐ取り入れられるものは早速編集に活かしております。すべてのご意見を載せられず残念ですが、一部をご紹介します。



～表紙裏表紙について～

- ◆表紙には「やまきたまち議会だより」各ページは「やまきたまち議会だより」と表記されている、どちらかに統一したほうがどうか?
- ◆前号と比べ、見出しの文字が少し太めで濃いフォントになっていて、よりみやすくなって良かった。



～あり方検?について～

- ◆見出しのつけ方が良いと思う。このような取り組みがなされているのだなとわかるし、実際に具体的な良い動きにつながりそうだと期待が持てる。
- ◆年度ごとの委員会なのか、議員全員が関わっているのか、成果はどこで公表されるのか、気になった。

～議会だよりを多くの人に読んでもらうためにどのような紙面にしたらいいか～

- ◆議員さんをキャラにしたマンガのページがあるとウケると思う。
- ◆町内地区の名称が紙面によく出てくるが、町民でも知らない地区もある。例えば毎回一つの地区をピックアップして、写真入りのシリーズコーナーを作るとかはどうか。

～一般質問について～

- ◆質問項目は、とても良いと思うが、解答内容に具体性が無く読んでも面白くない。
- ◆継続して読むことで「ああ堀口さんね」「和田さんね」みたいにキャラが分かってくるので、前回より面白く拝読した。
- ◆※注釈は辞書から引用した様でもっとわかりやすい説明をしたらどうか。
- ◆もっと個性があっても良いと思う。



※全集計結果はホームページに掲載しています。



やまきた町議会 おしゃべり Cafe



IN
ミーティングルーム

再開しました!!

コロナの影響で3月より中断していましたが「おしゃべりカフェ」が、7月より再開しました。7月8月は密を避けるため、議員控室に設置されたミーティングルームにおいて、予約制で実施しました。7月は3名、8月は1団体4名の方に出席いただきました。



農業関係

- ◆とれたて山ちゃん等の直売所のコロナ対応に関連して保障はないのか。
- ◆災害が発生したとき、直接的な農業への保障がない。農業に対する保障があっても良いのではないか。
- ◆道の駅、山ちゃんの連絡協議会が現在機能していない。行政の応援をお願いする。
- ◆農業の基幹産業としてオリーブ栽培に注力しているが、町とJA技術センターの連携があまりなく、鹿の被害もあり基幹産業として厳しい状況だ。

議会

- ◆山北駅前交番は、あることで防犯効果につながる。議会も何らかの策を考えて対応して欲しい。
- ◆おしゃべりカフェの開催目的とその主旨はなにか。
- ◆今議会が一番やらなければならないことは、チェック機能を発揮することだ。



おしゃべりカフェは 毎月20日開催!

町議会では、皆さまとの意見交換の場を増やすことを目的に「おしゃべりCafe」を開催しています。気軽にお立ち寄り頂き、皆さまの『声』をお聞かせください。

日時：11月20日（金） 13：30～15：30
場所：清水ふれあいセンター 2階大会議室

日時：12月20日（日） 13：30～15：30
場所：小田原百貨店山北店(イトインコーナー付近)

※お越しいただく際は、マスクの着用にご協力をお願いします。

その他

- ◆社協のお出かけ号の使い勝手が悪い。早急に改善すべきだ。
- ◆生涯学習センターの休館日を廃止したらどうか。
- ◆住んでもらうには特色がなければだめ。生半可なことでは人口は増えない。

※本紙面では、それぞれがあがった一部を抜粋してご紹介します。
※詳細な意見はホームページで閲覧できます。



あり方検?ってなんだ??

委員長のつ・ぶ・や・き



清水委員長

(年齢不明)
(山北地区中下清水在住)
好きな食べ物は
あんぱん、バナナ

あり方検（議会のあり方検討委員会）を今後は**あり検**と呼ばせていただきます。現在、3つの小委員会が目標に向かって活動を展開中です。（表参照）

あり検の活動目標のもう一つに「議員の働き方改革」を掲げています。まずは、議員の事務室となる「ミーティングルーム」を議員控え室の一角に設けました。そこを利用して議員の研修会を開いたり、事務仕事もできます。また、町民の皆さんと懇談したり、相談活動もできます。

ゆくゆくはコーヒーメーカーなんかも置きたいな、コピー機も必要だな、LANの設備も欲しいな……コーヒーカップ片手に町の将来を語り合うのもいいだろうな……なりたい人が誰でも議員に挑戦できる「山北町議会」を作っていきます。

小委員会活動中

小委員会名	活動状況
次世代育成	山北高校との連携を進めている。10月に学校訪問をし、授業の参観、意見交換を行う。
ICT活用	湯河原町議会のタブレット使用状況を視察。町の職員も交えて議会主催の「タブレット研修会」を行い、議会でのタブレット導入の検討を進めている。
定数問題	町の皆さんの意見を集めるため「 議会アンケート調査 」を実施予定。

【実施期間】
令和2年11月16日～11月30日

【回答方法】
アンケート回収ボックスに投函又は議会ホームページから回答

【アンケート回収ボックス設置場所】
役場庁舎、三保支所、清水支所、生涯学習センター、健康福祉センター、共和のもりセンター、小田原百貨店山北店、ふるさと交流センター、社会福祉協議会

※議員へご連絡いただければ回収に伺います。

町民のみならず、今後の議会に対する考えや意見をお聞きし、今後の議会のあり方に反映させるとともに、開かれた議会による活力あるまちづくりを目指し、全世帯を対象にした議会アンケート調査を実施いたします。アンケートは11月16日の自治会配付物を通じて全戸配付します。また、議会ホームページにも掲載し、ホームページからの回答もできますのでご協力お願いします。

議会アンケート調査
ご協力お願いします

「議会改革」住民と歩む議会

住民に信頼される議会をつくる

令和2年9月24日（木）山北町役場

山梨学院大学法学部・大学院教授 江藤俊昭氏

議会では「議会のあり方検討委員会」を通じて、議会の見える化・見せる化をテーマに議会改革を進めています。

その中の大きなテーマとして、議員定数や報酬、なり手不足があげられます。山北町議会が新体制となり、前半2年が経過しようとしています。残りの後半2年間で、議会改革の取り組みについて、しっかりと答えを出さなくてはなりません。

そこで、町村議会のあり方について研究を重ね、町村議会サポーターやアドバイザーを務める江藤教授を迎え、議員定数を含めた議会改革について研修を受けました。

「議会活動の根本にあるのは、地域民主主義の実現である」「住民とともに歩み、信頼される議会を作ることで、定数や報酬の課題もともに解決できるはずである」との講義でありました。研修を通じ議会としても、これまでより町民との対話の場を増やしなが、地域民主主義を実現させ、信頼される議会を作ってまいります。

研修会レポート

1



信頼される議会を目指し、議会改革に

研修会レポート

2

「議会タブレット研修会」

令和2年9月28日（月）山北町役場

東京インタープレイ株式会社 キム氏 他2社3名

ここ数年、議会のICT化推進を検討している一環で、今回はタブレット導入の検討ということで研修を行いました。テレビ会議システムを利用して東京からの講義研修で、質問応答も問題なく行われました。全国の300自治体で実績のあるペーパーレス会議システムの説明を受け、実際にタブレットを使った会議資料閲覧やメモ書き込み、キーワード検索などを体験しました。

膨大な紙資料を持ち歩かず、町民対話をスムーズにできるよう、合理的な情報機器の活用を今後も検討してまいります。



タブレットを活かし、効果的な議会活動を

生きいきひろば

最高で最輝な

最後の小学校生活を

三保小学校PTA

会長 湯川 浩一さん



今年度の三保小学校は、
1年生3人、3年生2人、
5年生4人、6年生1人の
合計10人、また家庭数は5
世帯で、今いるメンバー全
員が一つになり最後の1年
間を過ごしています。

9月27日は、幼稚園児1人を加えた11人と保護
者、卒業生、地域、来賓の方々など総勢1000人
を超える人たちが、最後の運動会を盛り上げよう
と集まってくれました。今回は、新型コロナウイルス
ウィルス感染防止対策を徹底的に講じた例年と違
う運動会でしたが、様々な場面で見られた子ども
たちの最高で最輝な笑顔は、いつまでも参加した
皆さんの記憶に残ることでしょう。

三保小学校は令和2年度をもって、146年の
長い歴史に幕を閉じます。閉校まであと数か月、
三保っ子たちと楽しい思い出をつくりたい
と思います。



編集後記

秋風が心地よい季節になりました。実りの秋、コロナ感染症の影響も露ともしせず、黄金色の頭を垂れ収穫を迎えた稲穂をみるとホッと一安心しありがとうございます。

今回は議会だよりモニターの皆様からご意見をいただいて2回目の編集になります。発行までに内容、割り付けを決めるところから5回ほど打ち合わせをしています。それでも気が付かない点、なるほど！というご意見、ご指摘をいただきハッとさせられ、ご協力の有難みを感じております。

今回は掲載量が多くこのメンバーで編集をはじめた初回の24ページとボリュームがあります。読みごたえがありますが、隅々までお読みいただきモニターでない皆様もご意見をお寄せいただけると嬉しいです。
(富田陽子)

議会の傍聴においでください

第4回定例会(予定)

12月7日(月)~

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ 75-3653
議会事務局

議会ホームページ

山北町ホームページ

→町議会のアイコンをクリック



広報分科会
委員長 富田陽子
委員 堀口恵一
清水成功
清田洋一
児玉明一
遠藤和秀